

# 防犯 BGM の理論について

この防犯 BGM 装置は人間が聞こえない（といわれている）メッセージを有線放送等の BGM 装置の音源に mix して店内の万引き等の犯罪を防止するというものです。ここではその理論について簡単にご説明いたします

## 1. 潜在意識と顕在意識

まず、人間は知的動物なため理性と本性とを使い分けられる動物といわれています。また高度の知能を持っているために脳の情報処理能力も他の動物と比べても群を抜いています。そのため情報を私たちが通常意識をしている意識（これを**顕在意識**といいます）以外の場所に無意識のうちに情報が蓄えられていきます。

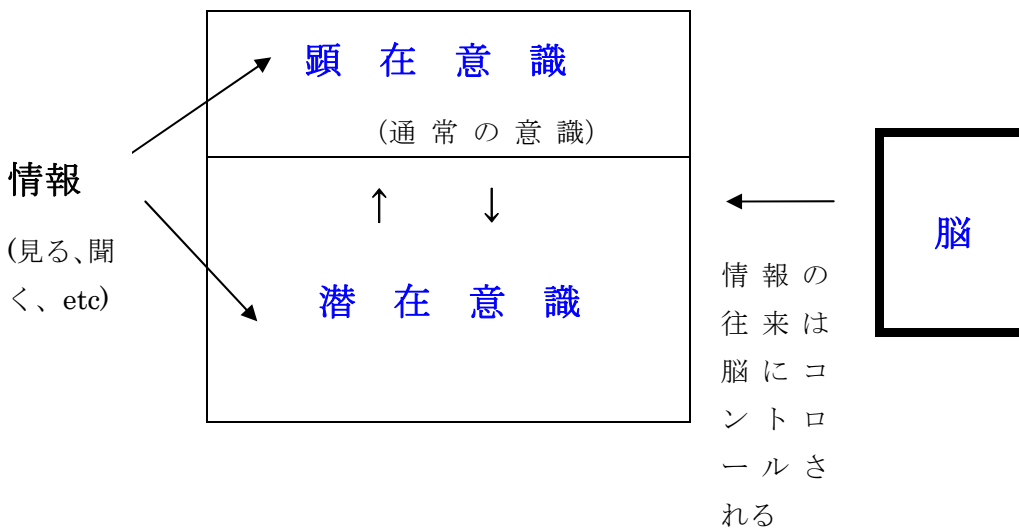


図 1 ; 潜在意識と顕在意識の関係

左の図を見てください。

日常生活の中で私たちは意識している以上の多くの情報を五感（目、耳、味、嗅、触）を通して得ています。しかしこれらの大半の情報は脳が「必要でない」と判断したため、意識の奥に閉じ込められてしまい。その大部分は棄てられてしまいます（忘れられてしまいます）その意識の奥の部分**潜在意識**といいます。

潜在意識を発見したのはオーストリアの心理学者フロイド(Sigmund Freud1865-1939)という人で「精神分析学」という学問を確立した人です。彼は多くの患者とのカウンセリングから人間は通常意識とは別の所にも情報が脳の中に入っていることをつきとめました。この潜在意識は意識できないために通常の私たちの意識とは別のものと考えられがちですが、潜在意識は顕在意識とつながっており潜在意識は顕在意識の延長といいと思います。従って入ってくる情報、その情報に対する脳の反応、人間の行動は潜在意識と顕在意識ともに変わりません。これを**意識同質の原理**といいます。わかりやすくいえば認識していることに気がつかないだけとっていいでしょう。

潜在意識は私たちが認識する 10 倍以上の情報が潜在意識に入っていることがわかっています。それらの情報の交通整理をしているのは脳です。脳の中枢には広大な潜在意識の海があり、私たちが認識している情報の多くは潜在意識の中へ入っていきます。大部分の情報は脳の交通整理によって廃棄されます。しかしその中で重要な情報と判断されたものは潜在意識の中に残り、顕在意識に影響を与えます。

防犯 BGM 装置はこのメカニズムを用いて、人々が万引き等の犯罪に走らないようなメッセージを再生し、有線放送や BGM 装置と mix して潜在意識に働きかける仕掛けになっております。

## 2. 万引き防止のメカニズム

さて、それではどのように万引き等の犯罪を潜在意識のメッセージによって防止するのでしょうか？それには万引き犯が万引きをするときの精神状況をシミュレーションする必要があります。

そもそも万引きとは何でしょうか？ ウィキペディア (Wikipedia) の定義ですと以下のようになっています。

「万引き(まんびき)とは窃盗の一種であり、営業時間中の商店・小売店(デパートやスーパーマーケット、コンビニエンスストア・書店)等において、販売を目的として展示・陳列してある商品(商品見本を含む)および展示・陳列のための備品等を、購買客を装って店の目を盗んで窃取するものを言う。

語源としては、商品を勝手に間引くことから、「間引き」が転じたのに由来するという説がある。」

ここで上記の店の目を盗んで窃取するものという表現に着目していただきたい。万引きは窃盗でも人や店員の目を盗んで「そっと、気がつかれないうちに」商品を窃盗する犯罪です。これを行う犯人はどのような心境になるか想像してみてください。

万引き犯は万引きを犯すときには誰も自分の行動を見ていないか絶えず気にしているものなのです。素知らぬ顔をしながら、誰も見ていない時に盗みたい商品を万引きしてやろうと考えるはずです。つまり絶えず誰かに見られるのでは、見つかってしまうのではという強迫観念を大多数の万引き犯は持っています。(例外はありますが) その万引き犯に潜在意識を通して以下のメッセージを流したらどうなるのでしょうか？

1. コラ!!!という怒り声、 2. パトカーのサイレン。 3. 警報音の音、 etc etc

これらの情報は通常では認識されませんが、(聞いていることに気がついてないだけですが) 潜在意識には確実に入っていきます。そして上記の情報を万引き犯が聞いたら果たして万引きできるでしょうか？万引きをやめるか少なくとも躊躇はすると思います。悪くとも万引きに関する意欲は確実に低下するでしょう。

防犯 BGM は以上の理論で万引きという犯罪を防止します。

## 3. 効果について

さて、ここで潜在意識へのメッセージによる万引き防止の効果ですがこれらのメカニズムはあくまでメッセージによる誘導であります。そのため残念ながら 100%の効果を保証するものではありません。お客様にまず実験によって「お試し期間」をもうけるのはそのためです。

またこの商品は万引き犯の「他人に見つかってしまう」「見つかったら社会的に多くのものを失う」という社会通念を持っている人に対しては効果的に効きます。しかし以下の場合には効果は保証できません。

1. 強盗、テロ等犯人が「強い意思で」行う犯罪
2. 人のものを盗むのが犯罪という善悪の判断がきかない子供、またはそれと同等の精神年齢を持った人物
3. 「みつかったらどうなる」という社会通念を持っていない人物、またはそれと同等の精神年齢を持った人物

尚、次のページにこの防犯 BGM についての FAQ(よくある質問)の項をもうけました。

# 防犯 BGM よくある質問

## 1. 潜在意識というものは本当にあるのですか？

万民が納得する科学的証明は確かに困難ではありますが「ある」のは間違いないと思います。なぜならもし潜在意識というものがなかったら私たちは以下のことを経験しないと思います。

- (1) **ある記憶を「思い出す」ということ**— 「思い出す」というのは潜在意識に入った記憶を取り出すということです。ちょうどあなたが何かものを片付けて引き出しや棚の奥からものを取り出すのと同じだと思って下さい
- (2) **就寝時に「夢」を見る**— 夢のメカニズムは完全には解明されていませんが、潜在意識に入った情報をランダムに取り出して合成しているとユング学派の学者はしております。
- (3) **デジャビュ現象**— 電車の中で知らない人はずなのにどこかで会ったような気がする人、そんな風に思ったことはありませんか？ 多くの場合その人とは実際どこかで会ったことがあるのです。会話とかはしなくとも同じ電車で近くに立っていた、座っていた etc

まだ他にもありますがこの3点はおそらくどなたでも経験したことがあると思います。これらの現象は人間の意識に「潜在意識」というものがないと説明が付きません。従って「潜在意識というものは存在する」といって差し支えないと思います。

## 2. 防犯 BGM を流して健康に対する影響はありますか？

今のところこれらを流して健康に悪影響を与えたという情報はありません。防犯 BGM のコンテンツは万引きを行わない人には単なる「雑音」にしか聞こえません。単なる雑音が健康に影響を与えるというのは考えにくいです。

## 3. 店内のお客様に対する影響は？

万引き犯以外は殆どないといってよいと思います。

## 4. 聞こえないメッセージを流すことに法的な問題はないのですか？

こういった潜在意識に対するメッセージはテレビ等の放送界では業界の自主規制によって規制されてはいますが、日本国内法に関してはこうしたメッセージを流すことを明確に禁止した法律はありません。従ってこの機械を有線放送に流すことによって特定の法律に違反するということはありません。(複数の弁護士に相談して確認済み)

## 5. 店の売上げに対する影響は？

直接はないと思います。ただし万引きによるロス率が減る可能性が高いですから利益率は上がると考えてください。

尚、売り上げや購買意欲を上げるといったコンテンツの作り方も可能ではありますが弊社では企業倫理上好ましくないと考えておりますのでやっておりません。